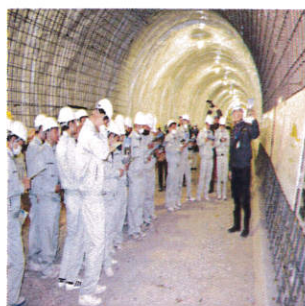


記事詳細

[記事一覧に戻る](#)

壮大な現場体験 (2015/12/19 4面)

トンネル等現場見学



高校生および求職者等の建設工事現場見学会が18日、薩摩川内市などで行われた。鹿児島工業高校建設技術系の生徒37人と県建設業協会人材育成対策室が募集した求職者および一般希望者16人らが参加してダイナミックなトンネル工事の様子を体感した＝写真＝。

同日は、県北薩地域振興局発注の地方特定道路整備(湯之元第2トンネル)の現場を見学。植村組・外園建設工業JVの八反田美鶴所長兼監理技術者と同局建設部土木建築課の福重博之課長が挨拶し、「トンネル工事を見学する機会はありません。きょうはしっかり勉強してほしい」と呼び掛けた。

見学会では、17日に貫通式が行われたトンネルの概要やこれまでの施工状況をビデオで紹介。サイドダンプ式のショベルや装薬発破など、作業の様子を見た参加者からは驚きの声があがった。



■見学後、意見交換会も



同日は、鹿児島市の県建設センターで意見交換会も開かれ、見学会を終えた高校生が業界関係者と意見交換を実施した。

生徒からは「アルバイトなどで職場体験はできないのか」「どのような資格を取得しておくべきか」などと質問。このうち「公務員と民間企業どちらが良いか」という質問には「どちらも大変な仕事。民間は独立するなどの夢を持つこともできる」など熱心に質疑応答を行った。

見学会と意見交換会に参加した同校の塩屋公実子さんは「授業で習った技術を実際に見ることでイメージが湧いた。いい経験になった」と感想を話した。

[更新:2015/12/21 No:690756]